

◆◆第55回NTTグループ全国弓道大会を通信制で開催◆◆

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2年連続して通常の大会開催は見送られ、代替として本年度は通信制(記録提出方式)で大会を実施した。実施にあたり、本大会限定の実施要項を策定し、団体戦は1チーム3名で1支部から複数チームの参加可、予選は1チーム24射(各自四ツ矢2回)、上位8チームタイまでを決勝進出とし、決勝は1チーム12射(各自四ツ矢)の的中制で行った。個人戦は従来通り、段位称号による三部制で、一人四ツ矢2回の8射を行い、総的中数上位者から順位を決定した。本大会は、令和3年11月から令和4年1月までの期間で各支部毎に記録会を開催し、提出された記録を集計して成績を決定した。

団体戦には、中央、東京、東海、関西、九州、北海道、データ、JIPの8支部・19チームが参加。予選11中以上が決勝進出となり、決勝では10中の東京Aチームが優勝した。

個人戦には、62名(一部18名、二部25名、三部19名)が参加し、一部(参段以下)は大室選手が7中、二部(四・五段)は河合選手が8中、三部(称号)は高木選手が8中でそれぞれ優勝した。個人総合は競射記録により、高木選手の優勝となり、併せて名越賞・女子優秀賞を獲得した。

昭和41年の連盟発足当初は通信制での大会開催が基本であったが、本年はそれ以来の通信制となった。より多くの会員が参加できるように、複数会場での同時進行ではなく、実施期間を設けた記録提出方式としたため、実施期間が終了して結果が集計されるのを待つという参加会員にとっては初めての大会経験となった。一方、実施期間内に地元で弓道場の利用ができなかったり、弓道の活動そのものが制限され、大会への参加を断念した支部もあり、参加者数は例年の6割程度にとどまった。

大会結果

			予選的中数	決勝的中数
団体の部	優勝	東京支部A	18	10
	準優勝	データ支部A	20	8
	第三位	北海道支部A	15	8
	第四位	関西支部B	15	8
	第五位	東海支部A	12	7

					的中数
個人の部	一部	優勝	大室 仲	中央支部	7
		準優勝	頼政 秀幸	データ支部	5
		第三位	泉田 博範	データ支部	5
		第四位	樋泉 清人	東京支部	4
		第五位	牧野 雄一	東海支部	4
	二部	優勝	河合 亮一	東京支部	8
		準優勝	倉富 真理	東京支部	7
		第三位	山本 勝弘	東海支部	7
		第四位	五十川 実千恵	中央支部	6
		第五位	榎本 周久	関西支部	6
	三部	優勝	高木 富美	中央支部	8
		準優勝	富澤 明	東京支部	6
		第三位	小田 昌美	北海道支部	6
		第四位	武田 さおり	データ支部	5
		第五位	池田 浩三	データ支部	5
総合優勝		高木 富美	中央支部		
特別賞	女子優秀賞	高木 富美	中央支部		
	名越賞	高木 富美	中央支部		

大会写真集

団体の部



【優勝】東京支部A



【準優勝】データ支部A



【第三位】北海道支部A



【第四位】関西支部B



【第五位】東海支部A

個人の部

一部



【優勝】
大室 仲
(中央)



【準優勝】
頼政 秀幸
(データ)



【第三位】
泉田 博範
(データ)



【第四位】
樋泉 清人
(東京)



【第五位】
牧野 雄一
(東海)

二部



【優勝】
河合 亮一
(東京)



【準優勝】
倉富 真理
(東京)



【第三位】
山本 勝弘
(東海)



【第四位】
五十川 実千恵
(中央)



【第五位】
榎本 周久
(関西)

三部



【優勝】
高木 富美
(中央)



【準優勝】
富澤 明
(東京)



【第三位】
小田 昌美
(北海道)



【第四位】
武田 さおり
(データ)



【第五位】
池田 浩三
(データ)

総合優勝
女子優秀賞
名越賞

入賞者コメント

団体の部

優勝	東京A	通信制とはいえ、大会の開催にご尽力頂いた事務局の皆様グループの弓友の皆様、本当に有難うございました。 相手が見えない中での大会でしたが、優勝出来まして本当に良かったです。 次回の大会は是非皆様とトーナメントで対戦しながらの大会が出来るようコロナの終息を願います。 引き続きよろしくお願ひ致します。
準優勝	データA	チームでの練習などは勿論できずにぶっつけ本番ではありましたが団体準優勝という成績を収めることができホッとしています。 通信制として開催にごぎつけていただきました事務局の方々に感謝申し上げます。
第三位	北海道	集合の大会であれば、北海道支部は、現役1名、他はOBで高齢のため、遠征は厳しいところでしたが、遠隔開催のため、団体を組む事ができました。 冬季間で室内弓道場の確保も行え通常通りのイメージで行射ができました。 あまり矢数はかけていないのが日常で、通信大会の行射をこなせるかと取り組み、メンバーを交代しながら何とか引けました。 平常心で取り組めた結果かと思しますので、今後も精進して行きたいと思ひます。 今後は、会場の都合などありますが、オンライン大会への取り組みなど、徐々に活動形式を多様化などもよいかと思ひます。 入賞させて頂きありがとうございました。
第四位	関西B	この度、4位入賞に少しでも貢献できてうれしいです。 またみなさんが集まれる機会が戻るよう楽しみにしております。 通信射会お疲れ様でした。 和気藹々とした雰囲気の中、元気な顔もみられ、それだけで満足していましたが我々のチームが4位に入賞して、正直驚いています。 次年度の試合はもっと上位を狙って頑張りましょう。 対面の試合を楽しみにしています。
第五位	東海A	牧野:「団体と一部個人共に5位を頂くことが出来ました。また皆様と顔を合わせてワイワイ競技出来るよう祈ってます。」 中尾:「チームの成績に貢献でき、嬉しく思ひます。4年ぶりの怪我からの復帰戦でしたが、何とか弓を引く事が出来ました。」 千賀:「初めてNTT弓道大会へ参加、メンバーに恵まれ入賞することができました。ありがとうございました。」

個人の部 三部

総合優勝 優勝	高木 富美	思いがけず、たくさんの賞を頂戴することとなり、感謝と共に驚きが隠せません。 「名越賞」まで頂き、身に余る光栄です。ありがとうございます。 これも、コロナ禍の通信制大会での開催の賜物と思っております。 きっと、通常の開催では、今回のような成績は出せなかったと思ひます。 次回、また集まったの大会で、恥ずかしくない射ができるよう精進して参ります。
準優勝	富澤 明	個人戦の部第二位の結果については、非常に驚いています。 NTT-G全国弓道大会が通信制により初めて開催され、本部並びに大会役員各位のご努力に対し感謝と敬意を表したいと思ひます。 新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、今年こそは対面での大会が再開されることを祈念し、NTT-G弓友の皆様とお会いできる日を楽しみにしています。
第三位	小田 昌美	通常の大会に参加出来ない中、初めての通信大会で団体、個人と入賞出来て良かったです。 機会があれば通信大会を試みては良いのではと思ひています。
第四位	武田 さおり	コロナ禍の中、オンラインとはいえ大会が開催されたことを喜ばしく思ひます。 皆さまとまた弓が引けることを楽しみにしております。
第五位	池田 浩三	5位に入賞したんですね。これまで云十回の入賞を経験してまいりましたが、通信大会が在ろうとは思ひもありませんでした。また一堂に会して旧交を温めることを願うとともに、大会役員の尽力ありがとうございました。

個人の部 二部

優勝	河合 亮一	今回はNTTグループの弓友の皆様のおかげで通信大会とは言え、大会を開催頂きありがとうございます。今回の優勝を励みに今後とも精進してまいります。
準優勝	倉富 真理	入部して間もなくコロナ禍となり、通信制とはいえ、ようやく念願の大会に参加することができました。開催いただきありがとうございます。今回の結果に驚いていますが、励みにして精進してまいります。
第三位	山本 勝弘	久しぶりの大会で心地よい緊張を味わうことができました。次回の大会を楽しみにしています。
第四位	五十川 実千恵	強豪ひしめく二部で入賞は喜ぶべきかもしれませんが、あと一本いけたのでは？という悔しさもあります。来年は悔いの残らない射をめざします。
第五位	榎本 周久	開催にむけて尽力していただいた方々に感謝します。個別開催とはいえ、活躍できたのは幸運でした。次回は是非集合して皆さんと競えたらと思います。

個人の部 一部

優勝	大室 仲	コロナ禍で行事が次々と中止になって以来、練習からもすっかり離れてしまいましたが、全国大会を通信制で実施すると決まり、慌ててリハビリを始めました。活動を再開することに意義があると思って参加しましたが、個人戦は思いがけない結果になりました。これを機に活動を本格的に再開し、次回は大会会場で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。
準優勝	頼政 秀幸	体力不足の中でもなんとか入賞できて良かったです。また全国の弓友の方々とワイワイやりながら弓を引けることを楽しみにしています。
第三位	泉田 博範	コロナ禍の中、NTTグループ全国弓道大会(通信大会)の開催ありがとうございました。また、今回入賞できたこと大変嬉しく思います。コロナ禍により、制限された厳しい状況ではありますが、これを励みに昇段できるように精進して参ります。
第四位	樋泉 清人	新型コロナウイルスのまん延が落ち着かないかNTT全国大会を、通信大会という形で開催していただきありがとうございます。練習があまりできない中、モチベーションを保ちながら今後も練習に励んでいきたいと思っています。
第五位	牧野 雄一	団体と一部個人共に5位を頂くことが出来ました。また皆様と顔を合わせてワイワイ競技出来るよう祈ってます。

次回大会のお知らせ

令和4年度の大会形式について事務局、主管の北陸支部で協議を行いました。

集合形式、通信制形式、さらに集合形式の場合は懇親会の有無と様々なパターンでフラットに検討しましたが、結論として**前回同様の通信制方式で開催**することとしました。

- 地連で開催する大会においては、事前に選手ごとの集合時間／競技時間を定めて時間差で行射をしている。しかしながら、大会そのものに加えて交流を重視する会員も多く、そのやり方はそぐわない。
- いまもって大規模な懇親会を開催するのは敷居が高く、集合して開催するとしたら大会のみとなる。前述のとおり、交流の機会として懇親会を重視する会員も少なくないことから、参加者の大幅な減少も予想される。
- 今に至っても出口戦略も見えない中で、新規感染者も横ばいが続き、国の終息宣言まで(ゼロになるわけではないものの、インフルエンザ等と同じ扱いになるまで)は大々的に集合しての開催は難しい。
- 万一にも集合して感染者を出してしまうと、現時点での世論ではNTTの看板に傷をつけることになる恐れがある。

詳細は改めてご案内致します。多くの会員各位のご参加をよろしく申し上げます。